

### ★今月の星もよう★

2月の中旬20時頃、夜空で一番目立つのは、  
— 2.4等の明るさで輝く木星です。また、冬の  
大三角をつくるおおいて座の1等星シリウスのず  
と下には、りゅうこつ座の1等星カノーパスが地平線  
すれすれに上がっています。豊川では高度が2.5度  
ほどしか上がらないため見つけるのは難しいです  
が、シリウスが南中する少し前の時間がチャンスで  
す。南の空が開けている場所で探してみましょう。  
この星は、本来白く輝き全天でおおいて座のシリウス  
に次いで明るいのですが、大気の影響を受けて実際  
よりも暗く赤っぽく見えます。中国の伝説では  
「南極老人星」とも呼ばれ、この星を見ると長生きで  
きると言われています。

### ★好条件の皆既月食★

3月3日の夜、満月が地球の影の中に入って太陽の光  
が月に当たらなくなる「皆既月食」が日本全国で見られ  
ます。今回は、東の空で20時04分から皆既食（月が  
完全に影に入る）が始まり、21時03分に終わります  
ので、観察しやすい時間帯の月食です。次に日本全国で  
見られる皆既月食は2029年1月1日で、年が明けると  
すぐに月が欠け始めます。豊川で深夜前に皆既月食が  
見られるのは、次は2032年4月25日ですので、3  
月のこの機会にぜひ観察してみてください。

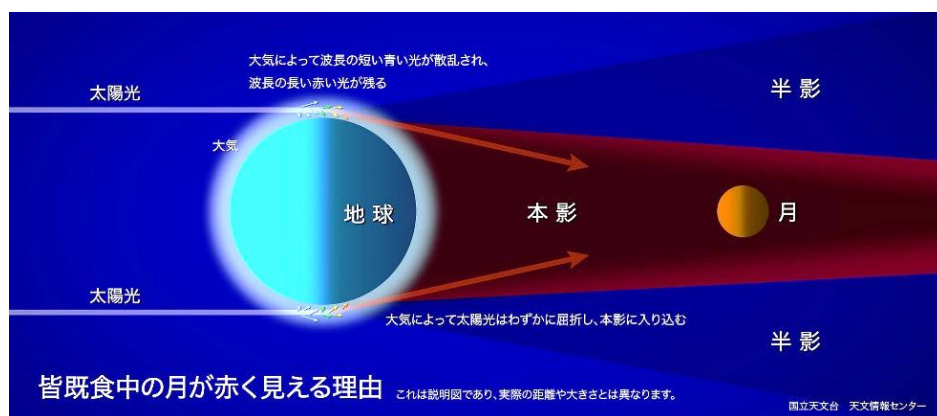
### ★月食が赤く見えるしくみ★

皆既月食中の月を見たことのある  
方は、月が赤銅色（赤黒い色）に見え  
たことがあると思います。これは、  
夕日が赤く見えるのと同じ原理です。  
太陽の光には様々な波長の光が含ま  
れています。波長の短い青い光は大  
気中の分子によって散乱されやすく  
届きにくい反面、波長の長い赤い光は  
地球の大気を通りやすいです。皆既月  
食中は太陽-地球-月が一直線に並び、月の全てが地球の本影に入り込みますが、大気によってわずかに屈折した赤い光が月に届き、月が赤く見えます。また、皆既食中の月の明るさは毎回同じではなく、地球の大気の状態に影響されます。例えば大きな火山噴火などがあった時は、大気中に含まれる塵が多く、赤い光でさえも月へ届かず暗い皆既月食になることがあります。また、大気が澄んでいる時は、大気中の塵に影響されず明るいオレンジ色に見ることがあります。

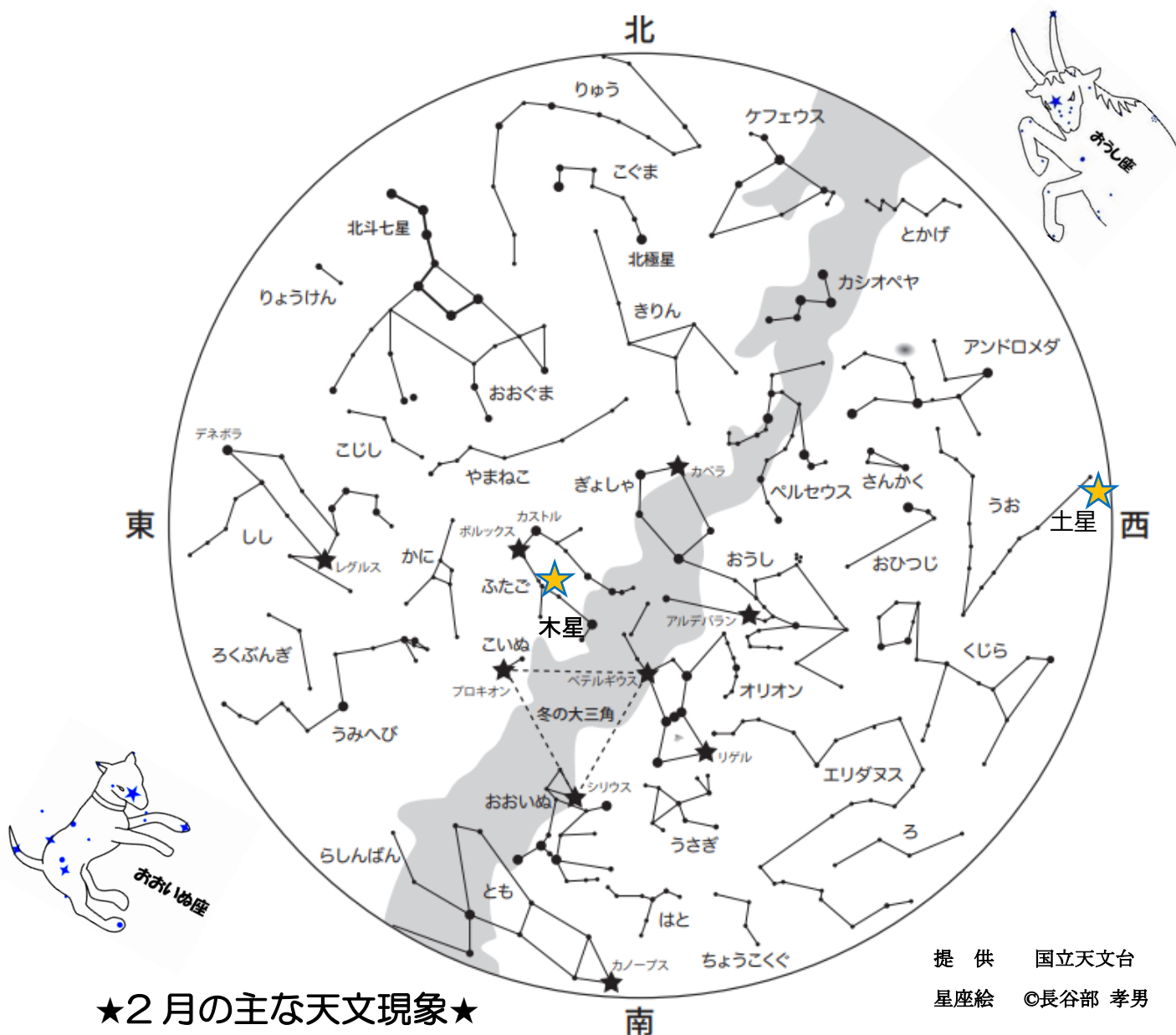
☆2月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください

☆プラネタリウムのお休み

2/2(月)、9(月)、12(木)、16(月)、17(火)、18(水)、24(火)



## 2月中旬 午後8時頃の星空



### ★2月の主な天文現象★

提供 国立天文台  
星座絵 ©長谷部 孝男

2日(月) ● 満月 スノームーン

9日(月) ● 下弦

17日(火) ● 新月

19日(木) 細い月が水星と土星に接近

20日(金) 水星が東方最大離角

24日(火) ● 上弦

27日(金) 月と木星が接近

### イベント情報 (中央図書館2階事務室で受付)

★星兄のプラネタリウム笑  
2/22(日) 前半の部 13:00～、  
後半の部 15:00～

解説：星兄

参加料：1人500円

チケット販売：1/15(木)～

★季節の星空探訪  
「真面目な宇宙人探し」

3月7日(土) 15:00～

講師：浅田英夫氏

参加料：1人300円

チケット販売：2/14(土)～